

甲府市男女共同参画推進委員会

News letter

第5期

プロローグ

VOL.9

2017.4 発行

ふえあねす



甲府市男女共同参画推進委員会
委員長 天野光江

2016年5月、甲府市男女共同参画推進委員会の第5期目の推進活動がスタートしました。自治会連合会をはじめ各種団体から29名、公募4名の計33名が男女共同参画について毎月の定例会や学習会を重ね、地域への啓発活動の実施に向けて活動を行っています。

2017年4月より「第3次こうふ男女共同参画プラン」及び「DV防止基本計画」が策定されました。甲府市のホームページでご覧いただけます。

【甲府市ホームページ】

市政情報⇒施策計画の暮らしに関する計画⇒第3次こうふ男女共同参画プラン

私たちの目的・使命

- ①「第3次こうふ男女共同参画プラン」達成のための活動
- ②甲府市民への啓発・情報提供
- ③男女共同参画推進委員のエンパワーメント

私たちの目指す男女共同参画社会とは
男性であること女性であることにかかわらず
「人」として対等に暮らしていける社会です



Contents

甲府市男女共同参画推進委員会第5期プロローグ	1
甲府市男女共同参画フォーラム2017	2
甲府市男女共同参画推進委員会パネル展・甲府大好きまつり	3
日本女性会秋田2016・国立女性教育会館(NWEC)フォーラム2016	4

編集・発行

甲府市男女共同参画推進委員会
〒400-0858 甲府市相生2丁目17-1
TEL 055-237-5209 FAX 055-222-206

甲府市男女共同参画フォーラム 2017

甲府市男女共同参画 フォーラム2017

入場無料

平成29年2月18日(土)
13:00~15:00
甲府市総合市民会館芸術ホール
(甲府市青沼3-5-44)

※最優秀川柳の表彰
【川柳作品展は2/15(水)~2/19(日)1F多目的室にて開催します。】

ミニコンサート

管楽器による 独奏・重奏「感謝の気持ちを込めて…」
~Amazing Grace~他

演奏者

甲斐清和高等学校 音楽科

講演

「これからの女性の生きかた」

講師 倉田真由美さん

(漫画家:「だめんず・うぉ〜か〜」がドラマ化
テレビ・ラジオに出演するなど多方面で活躍)

お問い合わせ

甲府市役所 人権男女参画課
TEL 237-5209 FAX 222-2062

主催 甲府市/甲府市男女共同参画推進委員会
後援 甲府市自治会連合会/甲府市女性団体連絡協議会
NHK甲府放送局/山梨放送・山梨日日新聞/テレビ山梨

プログラム

(2017年2/18)

1. 開会
2. 主催者あいさつ
3. 来賓紹介
4. 川柳最優秀賞の表彰
5. 男女共同参画都市宣言文の群読
6. ミニコンサート(甲斐清和高校音楽科)
7. 講演「これからの女性の生きかた」
講師 倉田真由美
8. 閉会

～これからの女性の生きかた～



甲府市男女共同参画フォーラム 2017 によせて

中村 京子

甲府市男女共同参画フォーラム 2017 が 2 月 18 日(土)に開催されました。年に一度のフォーラムではいくつかの役割分担を決め準備を行ってきました。どの役割も無くてはならないものであり推進委員ひとり一人が力を尽くし創り上げたフォーラムでした。会場には 350 名の来場者が集い、全員での甲府市男女共同参画都市宣言文群読は圧巻でした。甲斐清和高校の管楽演奏に心癒され、講師の倉田真由美氏による「くらたま流 すっきり生きる方法」で、個人の心の持ち方について考えるきっかけやヒントを学びました。ご来場下さった皆さまに感謝し、後期はさらに幅と深みを加えた男女共同参画推進活動を行いたいと思いました。

パネル展・甲府市役所 1F にて開催

(2016年11/29～12/3)



観覧者の声 (一部抜粋)

「男女平等」性別で区別されことなく誰もが平等に社会参加する機会を与えられることが男女共同参画社会だと思います。

まだまだ社会が男性中心と感じます。古い考えを改め女性が力を発揮できる社会づくりを応援します。

甲府大好きまつり・小瀬スポーツ公園にて開催

(2016年10/29日)

ご存じですか？

- ① カジダン
- ② イクメン
- ③ ケアメン
- ④ イクキュウ
- ⑤ ジェンダー

アンケートでわかったこと

- ★カジダンとイクメンは30～40代の子育中の方たちの認知度が高い
- ★イクメンは全体的に知っている確率が高い
- ★ケアメンは50～70代の男性が知っている確率が高い
- ★イクキュウは10代以外の認知度が高い

【言葉の意味】

- ①カジダン＝積極的に家事に取り組む男性
- ②イクメン＝積極的に育児に取り組む男性
- ③ケアメン＝積極的に介護に取り組む男性
- ④イクキュウ＝労働者のための『育児』を目的とした休暇のこと
- ⑤ジェンダー＝性別に基づいて社会的に要求される役割などの社会性差をさす言葉



甲府市の広報誌「こうふ」に クイズ de 男女共同参画社会 という記事が毎月載っています。

偶数月はクイズの問題、奇数月は答えと回答者のお名前が掲載されています。皆さんからの応募をお待ちしています。

「男女共同参画推進フォーラム」又エックに参加して (2016年8/26日)

「女性議員を増やそう！地方議会も国会

内藤芳美

日本の女性が参政権を獲得して70年が経ちます。7月の参院選で女性議員が12人増え、参議院では女性議員率がようやく20%となったが、衆議院では9.5%(45人)世界との比較では155位という低さです。地方議員に至っては女性議員0議会が全体の2割、特に市町村議会では3割をこえています。世界では「男女50:50」に向かっている。アジアでも大きく後れをとっている状況で国連女性差別撤廃委員会は日本政府に対して「クォータ制導入」と「民法改正」を勧告しています。この男女格差の解消なくして、国際社会の一員として誇れる国とはいえません。現在「女性活躍推進法」が成立し女性の活躍に注目が集まっています。しかし、政策決定の場である政治分野における男女共同参画については、すっぱり抜け落ち、明確な法的根拠が欠けている状態です。「政治分野における男女共同参画の推進に関する法案」成立は急務です。先進例としてノルウェーでは首相は女性、もう一方の野党党首も女性で財務大臣。全体的に女性の参画と活躍が進んでいる最先進国。それにより、社会の期待が変わり、家族と過ごし子育てすることが社会から賛美され、良い事という風潮になっている。日本も着実に進歩していく事を期待します。



日本女性会議 2016 秋田に参加して

みつめて みとめてあなたと私 ～多様性(ダイバーシティ)とは～

(2016年10/28～10/30)



人権分科会 女性たちの今、そして未来を作る

講師上野千鶴子

小田切 進

日本のジェンダーギャップ指数は下がり続け先進国の中で最低である。女性はもっと社会のリーダーとならねばならない。1945年女性参政権が認められたが、女性票は戸主の指示による従属的な家族表として捉えられていた。しかし、市川房枝の遺言「権利の上に眠るな」のように、家族票から独立して自分の運命を自分で決める投票行動が大切である。対談の中でも小松真希子理学療法士が以前は白衣の「土方」と言われ男性社会の中で頑張ってきたが、非正規雇用では「親権」を取ることも難しく、離婚すると「わがままな女だ」とレッテルを貼られることもあるが、怒りを女性の生きる力とし、娘には自由な生き方をしてほしいと話された。上野先生の話された「女は日本に最後に残された資源である」という言葉に納得しました。

「貧困」すべての子どもたちが希望を持ちながら大人になれるように ～ひとり親家庭から見てきた貧困～

小川はるみ

日本の貧困は相対貧困であり、貧困の背景には私たちが推し量れない程の複雑な事情や要因がある。松本さんのコメントの中で、貧困には経済の貧困、関係性の貧困、時間の貧困、健康状態の貧困、情報・知識の貧困があるという。この層別には共感した。また貧困家庭の孤立化を促進するのは社会の偏見:地域や周囲の人間である我々にも大いに責任があるという指摘は心に刺さった。貧困家庭の多くはシングルマザーでその裏にはジェンダーバイアスが潜むことも再認識した。これは私たちの課題でもある。一方現場の問題解決は急務である。究極の救済施設である「秋田婦人ホーム」は全国でも珍しく参加者から数々の質問が出された。また別のNPOからは子ども達や母親に関する長期の支援プログラムや出前・出張型の子ども食堂等も紹介された。意見交換の際、山梨の「フードバンク」の活動を紹介したところ先進事例であることがわかり、いくつか質問を受けた。

編集 後記

第5期甲府市男女共同参画推進委員会の前期が終了します。2016年5月にスタートした際、推進委員に初めてなった方が多く戸惑いながらも経験者のアドバイスに必死について活動をしてきました。後期はこれまでに学んだ事を元に、より良い啓発活動を行っていきたいと思います。

「ふえあねず」編集委員